

経営比較分析表（令和3年度決算）

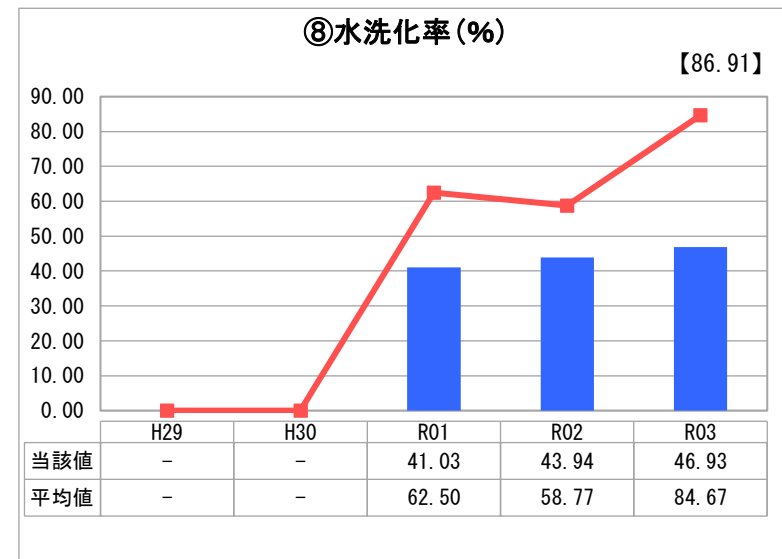
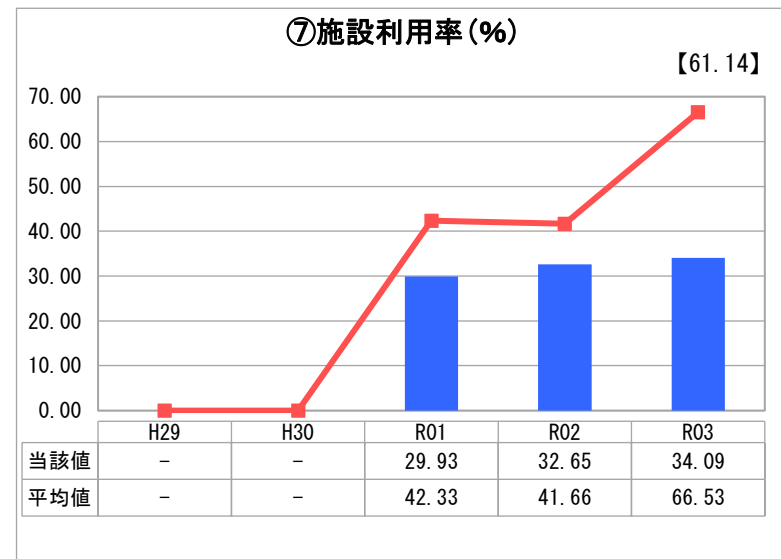
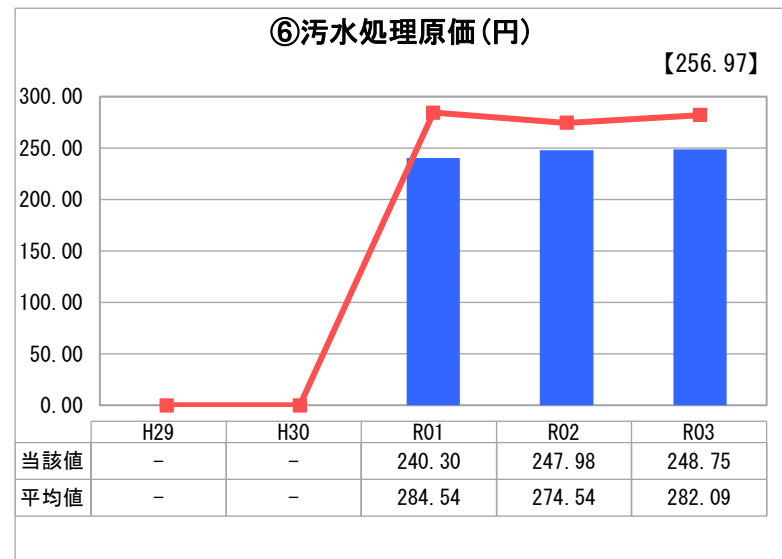
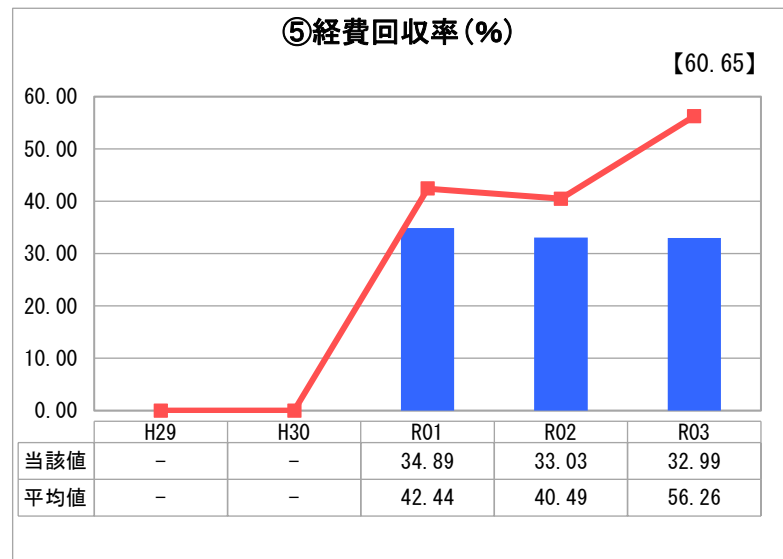
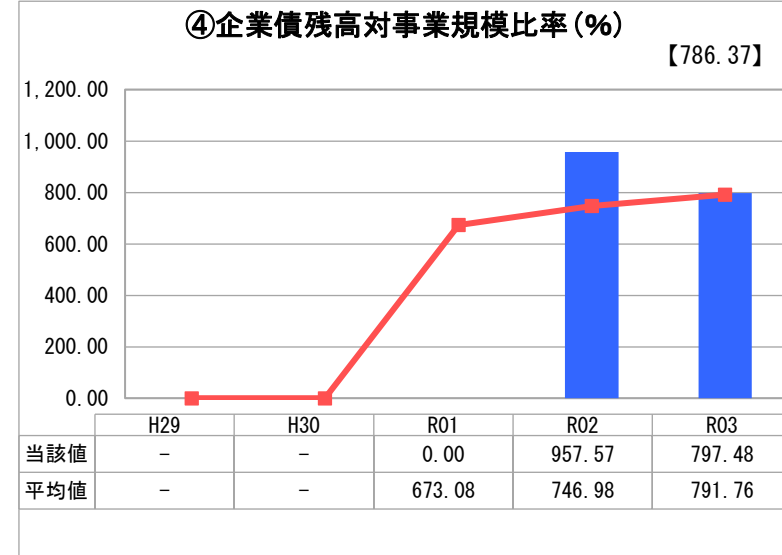
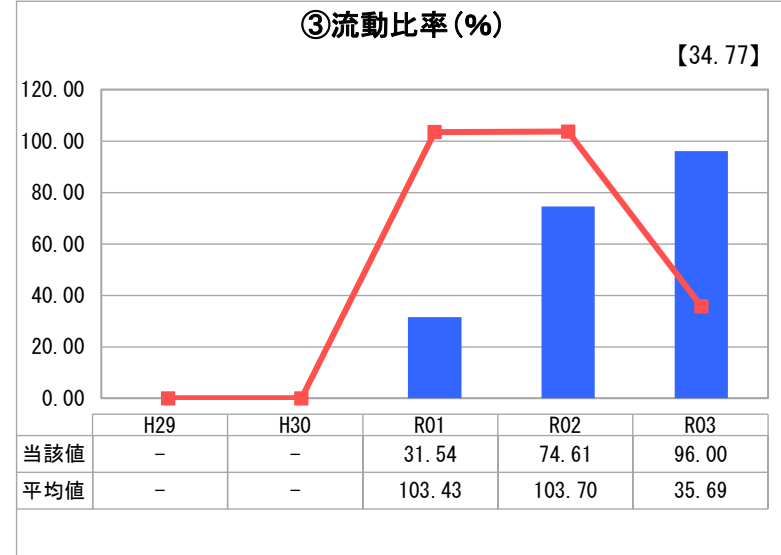
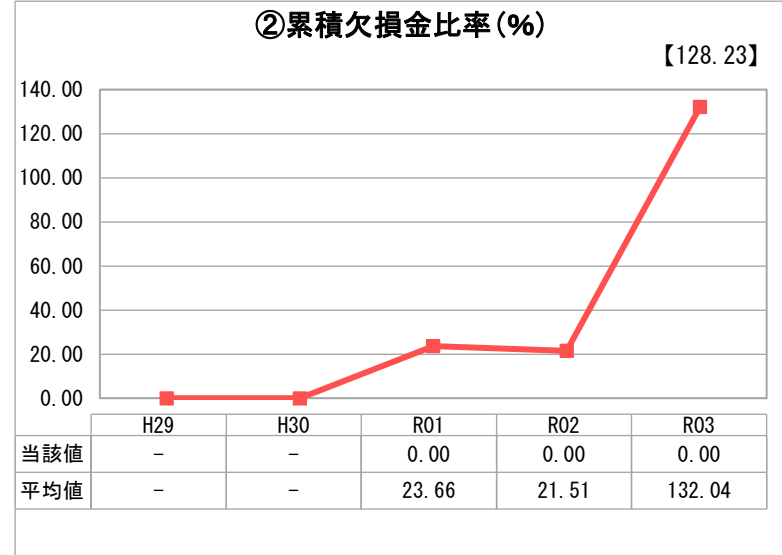
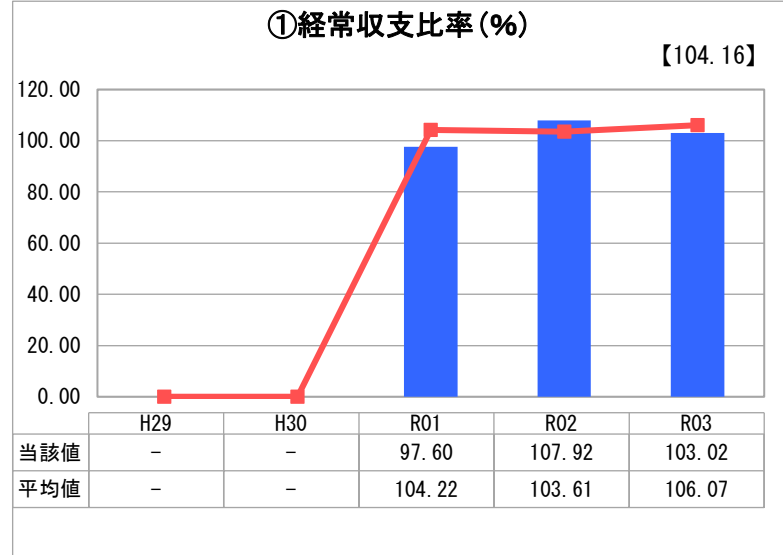
沖縄県 石垣市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	93.94	15.28	103.34	1,430

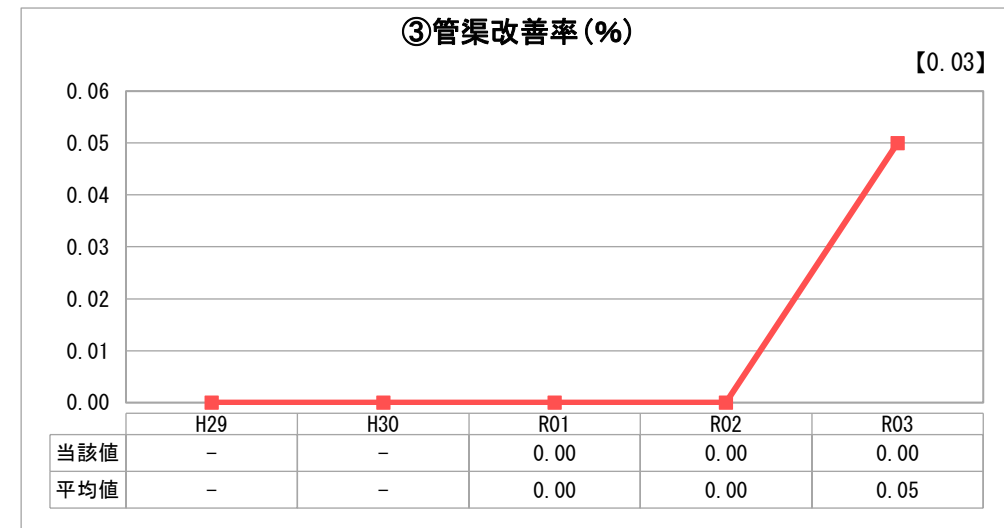
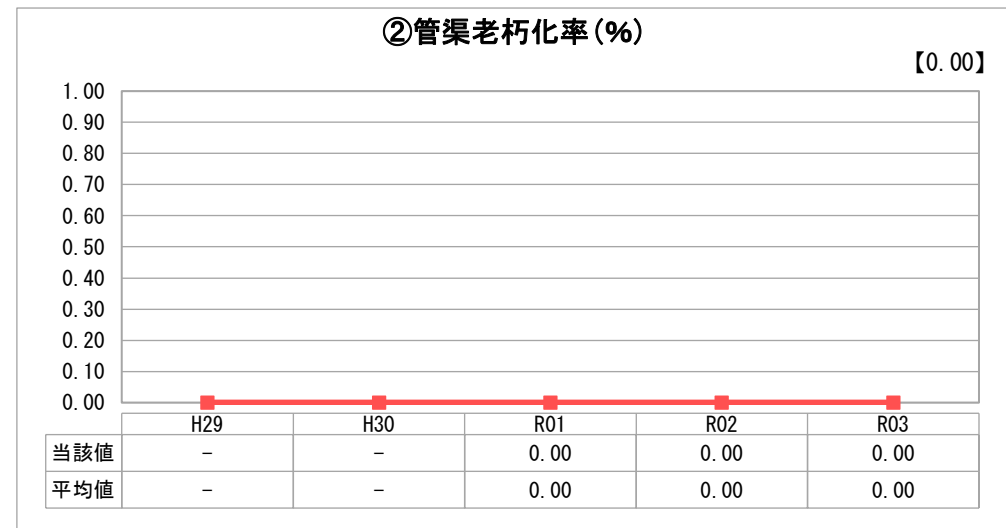
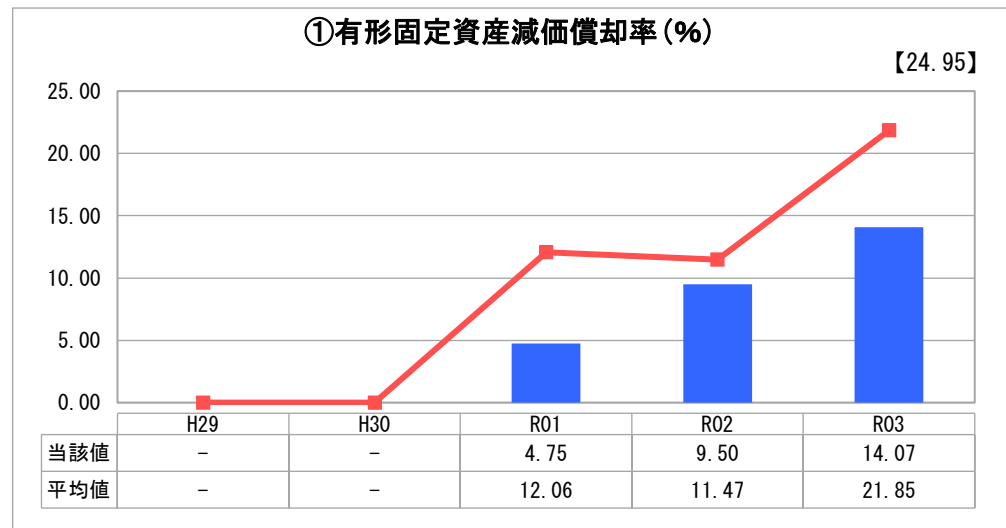
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
49,745	229.15	217.08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
7,460	2.95	2,528.81

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[]	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①比率は100%を超えているが、他会計補助金が要因であり、使用料収入で維持管理費等の経常費用を賄っていない状況である。
 ②短期的な債務に対する支払い能力は類似団体と比較して大きい指標を示し、100%に近い比率を確保している。
 ③使用料収入に対する企業債残高の割合で、類似団体と同程度の比率となっている。
 ④回収率が類似団体を大きく下回っており、汚水処理に係る費用が使用料以外の収入で補われている事を表しております。
 ⑤平均値より低い状況のため効率的な処理が実施されているが、更なる維持管理費等の削減に取り組む必要があります。
 ⑥平均値より低い状況のため、今後更に水洗化を進め、利用効率を高める事で有収水量の増加を図る必要があります。
 ⑦処理区内の水洗化率が、平均値より著しく低い状況です。水洗化向上のため受益者への広報・啓発が必要であります。

2. 老朽化の状況について

①類似団体平均値より低い状況で、下水道施設整備を継続しており、法適化3年目のため減価償却が進んでいないことが原因である。
 ②供用開始時期が遅いため、耐用年数を越えた管渠が無いことから比率0である。
 ③管渠の更新・改良・修繕延長が無いことから、比率は0である。

全体総括

本市の農業集落排水事業における、経営の健全性・効率性については、施設の効率性も悪く、水洗化率・経費回収率についても低い状況にあります。一連の指標から比較検討をすると、使用料負担水準が低く抑えられている事が経営の健全性・効率性に影響を与えていることが推測されますので、使用料負担水準の検討、更なる水洗化の向上につとめる必要があります。令和2年度策定しました「経営戦略」に基づき下水道使用料負担水準の検討に取り組めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。